

マクロ

ミクロ

鳥の眼 と虫の眼 で見る 私たちの暮らし

2025年

12/8月

第1部

10:35~12:05

第2部

13:00~14:30



参加無料

参加希望の方は、上記申込フォームから
12月3日(水)までにお申し込みください。

※ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。
※ご登録いただいた個人情報は、公開講座受付処理と今後の催事ご案内に利用します。当日は記録用として、会の様子を録画撮影させていただきます。

第1部 鳥の眼で世界を眺める 世界経済の不確実性

10:35~12:05 / 新潟県立大学 大学院棟 4101大講義室

海外の出来事をニュースなど画面越しに見ると、私たちの暮らしとは関係ないところで起こっているように見えます。しかし、実際には地元・新潟の企業、経済活動にもいろいろな形で影響が現れます。世界全体を見渡す鳥の眼を持つことで、そのつながりが見えてきます。



第2部 虫の眼で食品を見定める 健康長寿を支える食品と栄養

13:00~14:30 / 新潟県立大学 1号館 A棟 1313講義室

身近なところでは健康的な暮らしは私たちの一大関心事です。多くの人々が、日々の食事に気を使って暮らしています。物事を細かく見る虫の眼で食べるものを分析していくことで、こういった食べ物が健康長寿に役立つかを考えることができます。



主催/新潟県立大学 後援/新潟県、新潟市、新潟日報社、NHK新潟放送局、新潟経済同友会

問合せ/新潟県立大学 地域連携推進センター TEL 025-368-8225 Email unpreco@unii.ac.jp

〒950-8680 新潟市東区海老ヶ瀬471

10:35 開会

10:40~12:05 第1部 鳥の眼で世界を眺める

私たちの暮らしを脅かす世界経済の不確実性

連日のように報道されるトランプ関税や中東情勢の不安定化、ロシアのウクライナ侵攻といった国際的な出来事が世界経済の不確実性を高めています。特に、トランプ政権の誕生によって戦後の世界経済の繁栄を支えてきた自由貿易は大きな岐路に立っています。そのことが新潟県の経済、ひいては私たちの暮らしにどのように影響するのかを本学教員が解説します。続いて、新潟の地元企業が、世界経済の不確実性にどのように向き合っているのかをパネルディスカッション形式で議論します。

●基調講演 トランプ政権誕生と地域経済——新潟経済に焦点をあてて

新潟県立大学 国際経済学部 黒岩 郁雄 教授

●パネルディスカッション コーディネーター／北東アジア研究所 新井 洋史 教授

パネリスト／株式会社TOWA JAPAN 代表取締役社長 渡邊 豊 氏

株式会社ハヤマ 代表取締役社長 早山康弘 氏

第四北越リサーチ&コンサルティング株式会社 リサーチ事業部 主任研究員 近 由夏 氏

●Q&A

12:05~13:00 休憩

13:00~14:25 第2部 虫の眼で食品を見定める

健康長寿の暮らしを実現する食事や栄養とは？

私たちの暮らしの中での一大関心事は健康長寿です。健康を守るための一つの方法として、健康機能成分の利用が進んでいます。新潟県産の農産物に含まれる健康機能成分の研究と活用や地域貢献を本学教員が紹介し、近年注目されているアミノ酸の生理的役割について健康と病気を中心に招へい講師が講演します。

●講演1 健康長寿を目指した機能成分

新潟県立大学 人間生活学部 萩原 真 講師

●講演2 健康と病気とアミノ酸

ノートルダム清心女子大学 小林 謙一 教授(副学長、学校法人ノートルダム清心学園 理事)

●Q&A

14:30 閉会



アクセスマップ

ご来場の際は、公共交通機関をご利用願います。

■ 新潟駅バスターミナル2番のりばから「大形線」に乗車
(所要時間約25分/片道380円)、「県立大学前」下車、徒歩3分

※「津島屋」行きに乗車の場合は「大形本町」下車、徒歩8分
※最新情報は新潟交通のウェブサイトをご確認ください。

■ JR白新線「大形駅」下車(所要時間約10分/片道200円)、徒歩約15分

■ JR新潟駅からタクシーで約20分